

# 現代人の健康と究極の水素水

現代人の健康志向が高まる中、有害な活性酸素を除去する水素水が注目される。水素水は、水質の良さで選ぶたいもの。究極の水素水とは?

藤田 本日は遠いところを、よくお越しくださいました。

河本 先生にお会いできて光榮です。当社は鳥取県米子市の大山のふもとにある企業です。

藤田 どんな仕事をしておられますか?

河本 もともと水処理施設を手がけ、鳥取県の行政の仕事をさせていただいております。

また私の趣味がジャーマン・シェバード、警察犬の育成でございまして、よりよいドッグフードを追求し、ワンフード事業部というペットフード部門を設立しました。さらに社会福祉法人、いづみの苑という、約300人を収容する特別養護老人ホームの経営も行なっております。

ご高齢の皆さんに、生活の中で何が一番の楽しみですか?と伺う

と、温泉に入ることだといわれましたので、温泉を掘ろうと大山のふもとを掘削しましたところ、水温が30度ちょっとの温泉が出ました。この温度では加熱しなければ入浴できませんから、もつと掘れば、きっと水温が高くなるはずだと考へ、掘削を続けました。続けていくと岩盤に当たりました。その岩盤を破るのに1か月ぐらいかかり、岩盤を破ったところ、地下1200㍍から約45度の温泉を掘り当てた次第です。

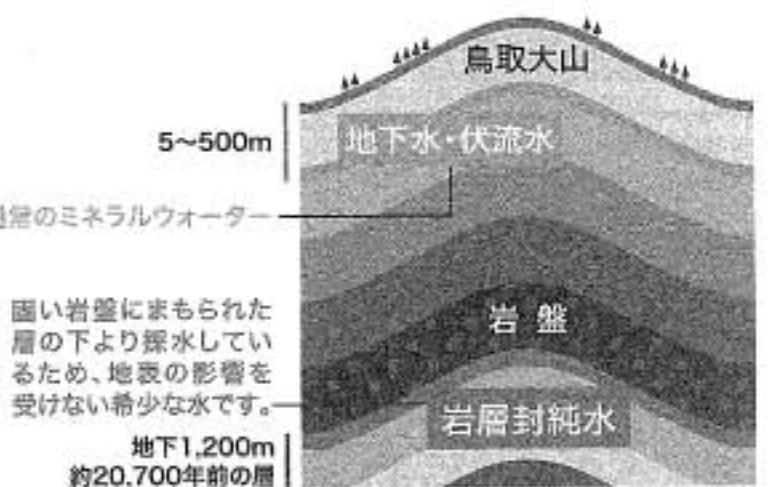
鳥取県保健事業団に検査していただき、2万700年前の地層から出た温泉であると判定されました。大仙が噴火すると同時にできた岩盤の下にあつた水ですから、水脈が断絶されたために生物がおらず、亜硝酸塩・硝酸塩ともに検出されなかつたので事業団の担当者も驚いておられました。

老人ホームの人間の方のみならず、地域の皆さまにも、この温泉に入っていたら、ラビスバというロッパ風のリゾート施設で地元の皆さんもより観光客の方にも楽しんでいただけております。

河本 ロッパ風のリゾート施設で地元の皆さんも車で50分くらいどれくらいかかりますか?

藤田 米子を港から、ボクは米子が大きくなります。

河本 車で50分くらいのところです。



好きですから、よく行つてゐんですよ、皆生温泉とか。

河本 ぜひ大山にも足を伸ばしてください。

この温泉の水質が、水道法はもとより、食品衛生法もクリアしていることから、飲料水として販売することにいたしました。

水素を入れてさらに機能を高めたのが、この岩層封純水です。

河本 弱アルカリ性で、硬度47です。

藤田 飲水ですね。

河本 ベーハーが8・4の非常に飲みやすい水です。

藤田 これは子どもからお年寄りまで、みんなが飲める水ですね。

河本 水素水ですよ。

河本 源水に熱処理しないで水素を充填し、バウチ密閉に詰めてから80度ぐらいの熱をかけて殺菌しております。

藤田 それはすごいですね。生で詰めるのは、すごいことですよ。水は単純なH<sub>2</sub>Oじゃないんです、H<sub>2</sub>Oが五つから六つの環状で構成されているのです。これを煮沸したり、消毒したりすると五つの鎖状になってしまいます。こうなると体によい水ではなくつてしまします。

ヨーロッパの有名ブランド水は、みんな生の水です。ところが日本では、ばい菌が怖いということで全部、煮沸しているので体に

